

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービスOHANA		公表日 R7.1.10			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		学童室や空き部屋を使用することで、活動出来るスペースを増やしている。	安全面を考えた配置はもちろんですが、他害や音など、利用者さん同士のトラブル回避も含め備品の配置を考える。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			管理システムの出勤状況を把握し配置を整える。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		スケジュールがボードに記載されており、1日の流れや活動が目で見分けるようにしている。 玄関にスロープ(手すり)が設置されている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		机とイスが常時あり、室内遊びや学習タイムなど着席して行う事が出来る。また、体操教室などの活動時は、机とイスを移動し動きやすい環境作りを行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1		常勤の職員は、参画していると思うが、パート職員までは出来ていないと思う。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1		今後も内部監査を行い正していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		研修には時間が合えば必ず参加するようにしている。また、夏前には救命講習(AED等)を行っている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			

適切な支援の提供	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1	個別支援計画を立てる際は「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援連携」について設定している。	ツールに沿ったアセスメントや話し合いを行っているが、書き込み等を行いながら理解を深めるとより良いと思う。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・季節のイベントによって内容を変えている。(工作等)また、活動曜日を週間にしたり曜日を変更することで、様々な児童が参加出来る様に行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		個別活動(学習・係・自立課題の取り組みなど) 集団活動(避難訓練・体操教室・買い物実習・カフェ体験など) 取り入れている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	支援前にミーティングを行っている。必要時行っている。連絡ツールを活用している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	従業員の退勤時間が異なる為、翌日に振り返ることもある。(当日は、時間的に難しい。)	日報の確認や、スタッフ間での情報共有を行っていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			毎日、日報を記録しており、支援についてスタッフと情報共有を行っていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6				

	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		係の仕事や活動内の役割を自分で決められるように提示している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			災害時の医療ができる避難所のリサーチをし、いっそう災害時の対応を整えていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6			管理システム導入の学校もあるので、法人携帯やPCとつなぎ、下校時間や行事の変更などの情報をスピーディーに受け取れるよう整備していく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1		利用前に登園してる園に連絡をし、担任の先生にお伺いし園での様子を知る。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6			学校卒業前に中高生向けの放課後等デイサービスNOZOMIへの移行や就労継続支援B型のDELICAFEどりむへの見学体験等必要に応じて行っている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	2	施設内に学童施設が併設されていて、活動を一緒に行う事もある。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6			町主催の会議には積極的に出席している。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		日々の連絡帳に児童の様子や活動内容をお伝えしている。また、送迎時に保護者と話せる機会がある。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等	5	1		社内研修に盛り込んでいきたいと思います。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1		変更等あった場合コドモンでの一斉配信で速やかに伝達をします。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		保護者からの要望があったときは、その都度面談や相談の支援を行っている。	こちらからお声掛けするようタイミングをみてお話ししていきます。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		年に1度、保護者様との交流もかねて茶話会を行っている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			法人代表にも速やかに報告する。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		HPの更新や、毎月のお便りの配信を行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		鍵付きの書庫に保管する。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	地域で開催される放デイ説明会にて、参加された保護者に説明等を行っている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		毎月、避難訓練を行い、内容を連絡帳へ記入しお伝えしている。	配布(掲示)時期を決めて保護者にマニュアルの周知と内容をお伝えしていく。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		毎月、必ず避難訓練を行っている。	災害時の避難方法や場所の見直しをすすめる。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		おやつ・給食等はアレルギーを確認して提供しているが、医師の指示書の提出にあったことが無い。	提供のおやつの写真を取り保護者に連絡、同意を得る等、間違えないよう守る。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	2		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		全体会議で毎月報告する場を設けている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			社内研修を取り入れていき、風通しの良いスタッフ間に努める。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			身体拘束があった場合は記録をとり、保護者に連絡、同意サインを頂く、一連の流れを怠らない。	

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス OHANA

公表日 R7.1.10

利用児童数 33

回収数 23

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されている と思いますか。	20	1		2		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	17			6	最近、子供達の利用時間を のぞいたことがないので	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境 (机や本棚の配置などを工夫すること) になっ ていると思いますか。また、事業所の設備等は、バリ アフリー化の配慮が適切になされていると思います か。	21			2		玄関等に手すりとスロー プが設置されています。 活動内容によって机やイ スを移動させて広く使用 しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっ ていると思いますか。また、こども達の活動に合わ せた空間となっていると思いますか。	23					毎日、必ず清掃を行い清 潔に保っております。
適切 な支 援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に 応じた専門性のある支援が受けられていると思いま すか。	19	3		1	苦手な集団活動の際に適 切な環境や言葉かけをし て欲しい	個別で対応したり、安心 して参加出来る様に声か けていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラム(事業所で行わ れている取組等)は、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	20	1		2		
	7	こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析され た上で、個別支援計画が作成されていると思いま すか。	22	1				
	8	個別支援計画には、「放課後等デイサービスの提供 すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移 行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な 項目が適切に設定され、具体的な支援内容が設定さ れていると思いますか。	22	1				
	9	個別支援計画に沿った支援が行われていると思いま すか。	21			2		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫 されていると思いますか。	18	3	1	1		季節の工作や、イベント を取り入れております。
11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の こどもと活動する機会がありますか。	22		1			施設内に【げんきッズあ ゆみ】学童が併設してお り、同じ活動も取り入れ ております。	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラ ム、利用者負担等について丁寧な説明がありました か。	23					
	13	「放課後等デイサービス計画(個別支援計画)」を示 しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	2		1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペア レント・トレーニング(こどもへの関わり方を学ぶ こと)等)や家族等も参加できる機会等が行われて いますか。	15	3	2	3		必要に応じ保護者様と面 談相談を行っております が、具体的に家族支援が 提示できるように取り組 んでいます。

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	22	1				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	1				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21	2				
	18	保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、イベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7		1	4	きょうだい同士の交流はないが、きょうだいへの配慮(相談支援)をしている。きょうだい会の開催を希望します。	きょうだい会につきましては、検討させていただきます。
	19	こどもや家族からの相談等について、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談等をした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	2	1	1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	1				
	21	定期的にホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	23					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	2		3		
	24	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21	1		1		
	25	こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状態等について説明がされていると思いますか。	22			1		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	21	1	1		苦手な活動もある為、行き渋りもあるが、登所後は1日の様子を話してくれる。	安心して活動に参加出来るよう支援していきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	19	3	1		イベント事は楽しみにしている。	児童が楽しめるようなイベントを今後も行っていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	22	1				